

10月指導計画(3歳以上児クラス) 幕張第二保育所										所長印	主任印	担任印
3歳児			4歳児				5歳児					
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と、一緒に好きな遊びを繰り返し楽しんでいるが、思いをうまく伝えられずトラブルになることも多い。保育者の仲立ちで自分の思いを伝え、友達の思いも聞き、納得できるようになってきている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な運動遊びに興味を示し取り組む子がいる一方、「うまくいかないかも」「負けちゃうかも」という思いから、「やりたくない」「できない」といって二の足を踏む子もいる。友達との関係は広まりつつあり、クラスを超えて遊ぶ姿もある。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な運動遊びに意欲的に取り組み、運動会への期待も高まっている。そんな中、プレッシャーで尻込みする子や、チームの勝敗や友達のがんばりよりも自分の勝敗にこだわる子がいて、遊びが止まってしまうことがある。運動量が増え疲れがみられたり、季節の変わりめで体調を崩しがちな子もいる。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に声をかけられ、気温に合わせて衣服の調節をしたり、手洗いうがいなどをし、健康に過ごす。</li> <li>・保育者や友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しんだり、秋の自然に親しむ。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化に応じた過ごし方がわかり、自分でしようとする。</li> <li>・友達と関わりながら体を動かすことの楽しさや心地良さを感じる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の健康に関心を持ち、健康で安全な生活を送るための生活習慣を身につける。</li> <li>・友達と目的に向かって取り組み、自信を持って自分の力を発揮し達成感を味わう。</li> </ul>				
ねらい	環境設定			環境設定				環境設定				
	予想される子どもの姿			予想される子どもの姿				予想される子どもの姿				
養護 (生命の保持 情緒の安定)	一人一人の様子に合わせて1対1でじっくりと話を聞けるような場を用意する。			子どもが自分の思いを伝えられるようにゆとりを持ってじっくりと話を聞く場を用意する。				「自分の思いを言っても大丈夫」という安心感が持てるように子どもの気持ちに寄り添って理解し関わる。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で身の回りのことに取り組めるよう十分な時間や空間を用意したり、やり方を個別に知らせたりする。</li> <li>・どんなときにどんな服を着たらよいか絵などで知らせ、わかりやすくする。</li> <li>・遊びの中でスプーンや箸遊びを取り入れる。</li> <li>・「やってみよう」という意欲を受けとめつつ、運動能力に応じた遊具の設定や援助をする。</li> <li>・子ども達に合わせた遊び方やルールの設定を考えておく。</li> <li>・年上児の遊びを見たり、一緒に遊ぶ機会を持ち、興味を持った遊びを真似したり一緒に楽しめるよう遊具や用具を準備する。</li> <li>・秋の自然物や虫がいたような場所を探しておき、散歩などに出かけ自然に触れる機会を多く持つ。</li> <li>・思ったことを話しやすい雰囲気や友達の思いをきちんと聞ける雰囲気をつくる。</li> <li>・季節感を感じられるような曲や、体を動かし楽しめるような曲を用意しておく。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の体調や活動量なども考慮しながら、子ども自身が暑い、涼しいと感じて衣服を選べるように声をかける。</li> <li>・正しいスプーンや箸の持ち方を知らせつつ楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。</li> <li>・体を動かす楽しさに共感し、自信や意欲につなげる。</li> <li>・年上児にも協力してもらい、無理なくルールが理解できるようにする。</li> <li>・年上児の友達に親しみが持てるような言葉かけをしたり、安全に配慮し必要に応じて手助けをする。</li> <li>・自然物を集めることだけでなく、集めたもので遊んだり、活用できるようにする。</li> <li>・友達を感じたことや思いを聞けるよう落ち着いた環境を用意する。</li> <li>・見つけた自然物や虫などの生態を調べる楽しさや虫捕りをする面白さを味わえるよう図鑑、かご、網などを用意する。</li> <li>・保育者も一緒に歌ったり踊ったりして表現する楽しさを伝えていく。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の思いを言っても大丈夫」という安心感が持てるように子どもの気持ちに寄り添って理解し関わる。</li> <li>・日々丁寧に見取り、丁寧に取り組んでいる姿を認め習慣づけるようにする。</li> <li>・正しい箸の持ち方やマナーは知らせつつ、楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。</li> <li>・がんばっているところを認めたり、負けて悔しがる子は励まし、次の意欲につながるようにする。</li> <li>・二の足を踏む子には思いに寄り添いつつ、参加してみようという気持ちが芽生えるようにする。</li> <li>・主張の強い子の意見でルールが変わってしまわないように、みんなで考えられるようにする。</li> <li>・自分の遊びに没頭している子はその遊びを大切にしつつ、タイミングを見て他の遊びの様子も伝えていく。</li> <li>・子ども同士の様子ややり取りの中でうまく思いが伝わらないときは相手に伝える話し方を知らせる。</li> <li>・子どもの気づきに共感し、疑問に思うことを一緒に調べて興味・関心を引き出すようにする。</li> </ul>				
教育 (健康 人間関係 環境 言葉 表現)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から身の回りのことをやろうとし、できると得意げに保育者に見せに来る。㊦ ㊧</li> <li>・暑い、涼しいを感じて、衣服の調節をする。㊦ ㊧</li> <li>・スプーンや箸の持ち方を友達や保育者と見せ合いながら楽しく食べる。㊦</li> <li>・保育者や友達と一緒に思い切り体を動かしたり、様々な運動遊具を使った遊びを楽しむ。㊦</li> <li>・順番を待ったり、交代したり、遊具を貸し借りするなどルールがわかり友達と遊ぶ。㊨</li> <li>・運動会に参加し、年上児の遊びに興味や憧れを持ち、一緒に楽しんで遊ぶ。㊩</li> <li>・ドングリや松ぼっくり、落ち葉などの自然物を集めたり、虫を捕まえて楽しむ。㊫ ㊬</li> <li>・自分の気持ちを言葉で伝え、友達や保育者とやりとりをする。㊯</li> <li>・友達と一緒に音楽に親しみ、聞いたり歌ったり、体を動かしたりして表現遊びを楽しむ。㊳</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でできた満足感や達成感を感じられるような関わりをしたり、必要に応じてさりげなく手伝ったり励ましたりする。</li> <li>・一人一人の体調や活動量なども考慮しながら、子ども自身が暑い、涼しいと感じて衣服を選べるように声をかける。</li> <li>・正しいスプーンや箸の持ち方を知らせつつ楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。</li> <li>・体を動かす楽しさに共感し、自信や意欲につなげる。</li> <li>・簡単なルールのある遊びを取り入れ、みんなで繰り返し遊び、楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・友達や年長児の遊ぶ様子を見たり応援したりする機会を持つ。</li> <li>・友達を感じたことや思いを聞けるよう落ち着いた環境を用意する。</li> <li>・見つけた自然物や虫などの生態を調べる楽しさや虫捕りをする面白さを味わえるよう図鑑、かご、網などを用意する。</li> <li>・保育者も一緒に歌ったり踊ったりして表現する楽しさを伝えていく。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の思いを言っても大丈夫」という安心感が持てるように子どもの気持ちに寄り添って理解し関わる。</li> <li>・日々丁寧に見取り、丁寧に取り組んでいる姿を認め習慣づけるようにする。</li> <li>・正しい箸の持ち方やマナーは知らせつつ、楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。</li> <li>・がんばっているところを認めたり、負けて悔しがる子は励まし、次の意欲につながるようにする。</li> <li>・二の足を踏む子には思いに寄り添いつつ、参加してみようという気持ちが芽生えるようにする。</li> <li>・主張の強い子の意見でルールが変わってしまわないように、みんなで考えられるようにする。</li> <li>・自分の遊びに没頭している子はその遊びを大切にしつつ、タイミングを見て他の遊びの様子も伝えていく。</li> <li>・子ども同士の様子ややり取りの中でうまく思いが伝わらないときは相手に伝える話し方を知らせる。</li> <li>・子どもの気づきに共感し、疑問に思うことを一緒に調べて興味・関心を引き出すようにする。</li> </ul>				
	行事予定			家庭との連携				行事予定				
<ul style="list-style-type: none"> <li>3日(火) うんどうかいごっこ①</li> <li>4日(水) うんどうかいごっこ②</li> <li>11日(水) 内科健診</li> <li>12日(木) おはなし会</li> <li>18日(水) うんどうかい</li> <li>19日(木) うんどうかい予備日</li> <li>27日(金) 内科健診</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕の気温差が大きいので、自分で調節しやすい衣服の準備と補充をお願いします。</li> <li>・運動量が多くなるので、十分な休息・睡眠と、健康管理ができるよう子どもの様子を伝え合う。</li> <li>・保育の中で取り組んでいる内容や子どもの様子を伝え、家庭での話題につなげられるようにする。</li> <li>・運動会を通して親子の触れ合いを楽しんだり、子どもの成長を喜び合う。</li> <li>・内科健診や歯科検診の結果を知らせ個々に治療をお願いします。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に連絡し、散歩で小学校の校庭などを訪れ雰囲気を感じる。㊰</li> <li>・掲示してある学校だよりを年長児や保護者にアピールし、小学校を知ってもらえる機会にする。</li> <li>・小学校の授業参観に保育所職員も参加し、小学校の様子を知る。</li> <li>・うんどうかいに小学校の先生や地域の方を招待する</li> </ul>					
月の反省	3歳児			4歳児				5歳児				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての運動会の参加だったが楽しむことができた巧技台や三輪車で体を動かしたり、体操を楽しみながら運動遊びを行った。また、年上児の姿を見て、鉄棒や縄跳びに挑戦する姿も見られた。</li> <li>・食事面において、スプーンを鉛筆持ちで食べる子が増えている。椅子の座り方や食器の扱い方は引き続き知らせていく。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化に応じて長袖を着たり、外で遊ぶ時には上着を着るなど、衣服の調節をした。暑くなったら上着を脱ぐなど、自分で考える姿もある一方、厚着や薄着の様子もあるの</li> <li>・気温に合った服装について引き続き知らせていく。</li> <li>・運動遊びでは、得意な子は積極的に参加する様子があったが、苦手な子はなかなか参加しない様子が見られた。友達と一緒に参加出来るように誘い掛けたり、一回だけでもやってみよう誘うと、参加する姿があった。参加出来た時にその事を認めたり、楽しかった事を感じられるように声を掛けると、興味を持つようになった。引き続き、運動遊びを楽しめるように誘い掛けていく。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会を通し、友だちと話しあったり、目標を持って頑張ろうという姿が見られた。運動遊びに苦手意識があった子も参加しようという気持ちが見られたのでそのタイミングを逃さないようにしていった。年齢担当だけでなくクラス担任からも声をかけてもらったことで自信となった子もいたように思う。一人一人の様子、状況を細かく伝えあっていくことの大切さを感じた。話し合っ決めていったので、子どもたちの意見でできたという思いにつながったと思う。</li> <li>・9月末に幕張東小、幕張小へ散歩に行き、10月に幕張小の授業参観に(職員)参加した。友だちと一緒に見せてもらったことで就学前健診で行くよりも緊張感はなかった。就学前健診前のこの時期の交流の良さを感じた。今後も続けたい。</li> </ul>				